

「らんらんプロジェクト '19」 活動報告書
大学と地域を結ぶ高砂5丁目公園プレーパーク 2019

環境創生工学系専攻 環境建築学コース1年 杉村崇斗

■プロジェクトの目的

本プロジェクトは、学生間の交流及び大学と地域住民の交流を図り、地域課題解決や、住民にとってより良い地域づくり(地域の魅力創出)の一助を担うことを目的とします。

そのために本プロジェクトでは、本学に隣接する高砂5丁目公園内にてプレーパーク(子どもための自由な手作りの遊び場)を作ること、公園周辺に住む子どもの屋外や自然の中での遊びや学習の場を創出すること等が期待されます。また、プレーパークの企画・運営により、学生同士の交流の場の提供と共に、大学・地域住民・地元店舗・地元の学校間での交流を促進し、新たなコミュニティの形成や、地域のことを考えられるような人材が育成される等の効果が期待されます。

■活動内容

今年度は計画していた公園整備に加え、夏・秋2回のイベントを実施しました。イベントにおいては公園内の資源を活用し、夏・秋それぞれの季節に応じたプログラムを提供しました。具体的な活動内容は以下の通りです。

○公園整備(6月16日(日) 実施)

- ・活動内容:木の剪定,草刈り機を用いた草刈り,水場の整備,柵や看板の補強

○夏のプレーパーク(7月13日(土) 10時~13時 実施)

- ・プログラム:湧き水空間を活用した稲植え体験や泥遊び
かき氷づくり,段ボールそり滑り等
- ・参加者集計:約30名



○秋のプレーパーク(11月16日(土) 10時半～13時 実施)

- ・プログラム：焼き芋、散策路宝探し、ダンボールそり、クラフト、パルフォアマルシェの出店等
- ・参加者集計：約50名



■活動実績

○他主体連携

昨年度に引き続き、本プロジェクトの目的である、地域住民の交流の促進に向けた「他主体連携」を重視し、以下の活動を実施しました。

- ・パルフォアマルシェ (Pain de mic、やきとり伊勢広) の出張・出店
- ・明德寮祭の山車の廃材を焚火に使う薪に再利用
- ・室蘭工業高校との連携した「工作プログラム」

○地域への定着

以前から、本プロジェクトでは新聞社に周知協力の依頼や、チラシを作成して、近隣の幼稚園・小学校に配布などを行う等してきました。参加者の「知人から聞いて遊びに来た」、「毎回参加して



いる」などの声を聞くことができ、本プロジェクトが地域に根付いてきたことを実感しました。活動の成果と継続の重要性を感じております。

○安全管理

毎回、事前に学生や地域住民も含めた中心メンバーによって企画会議（ワーキング）を行っております。普段なかなか体験できないことの実施、公園資源の活用、各プログラムの配置等を心がけ、活動の目的やプログラムの内容をスタッフで共有しております。また、各イベントを通して、イベント開催の度に反省会を実施し改善を行いました。今年度は強風や降雨等でなかなか天候に恵まれず、安全面や体調面において心配の声が上がりましたが、スタッフの積極的な話し合いによるプログラムの変更によって、適切なリスク管理のもとでイベントが実施できたと考えております。また、土や泥等の汚れによる衛生面の管理、ダンボールそり等の激しい運動のプログラムに対してのけがのリスク管理等、子どもの視点での意見も多く出たため、次年度ではこれらをもとにプログラムの質の向上に努めます。

○表彰等

・室蘭工業大学 蘭学賞 特別部門受賞（平成31年3月25日）

・COC+ HOKKAIDO（北海道COC+コンソーシアム）

『学生』×『企業』=∞ ～ミライの北海道を考える～ 道内7大学・4高専 地域課題解決プロジェクト」
優秀賞受賞（令和元年10月20日）

■今後の展望

今後の活動の展望としては、3点挙げられます。

まず、「運営体制の質の向上」です。今年度は天候に恵まれず、降雨、降雪、強風といった例年にない環境での実施となり、参加人数も例年より少なくなりました。今後はそのような状況も想定した環境整備に努めます。また、親子で遊びに来る参加者が多いため、大人も楽しめるようなプログラム等を企画し、来年度はより柔軟かつ質の高い活動内容を目指したいと考えております。

次に、「地域住民との連携の発展」です。私たちは、高砂5丁目公園を中心にだれもが参画できるような「プラットフォーム」のような場づくりを目指していきたいと考えています。今までに築いた関係を基盤にさらに地域を巻き込むような活動を進めていきたいと思っております。

最後に、今年度の活動の成果の基盤となった「活動の継続」です。本プロジェクトの活動の認知、イベントの運営体制の質の向上等は、今までの活動の継続の積み重ねがあるからだと考えています。今後も回数を重ねるごとに、地域の方の本プロジェクトに関する興味や関心が高まると考えており、上記2点も考慮しながら活動を継続していきたいと考えています。



■最後に

本プロジェクトに携わることで、市役所の方々や民間企業、室蘭市の地域住民、先輩後輩といった多様な関わりができ、様々な考え方を取り入れることで以前よりも広い視野で物事を考えられるようになったと感じます。また、企画運営を通して、様々な人達との話し合う機会がありますが、その都度、新しいアイデアが生まれ、プログラムの質が向上するなど、様々な人との「つながり」の重要性を強く感じます。

学生の皆さんにとって、本プロジェクトのような地域活動は様々な人との「つながり」を作り、地域を良くしていくきっかけであるとともに、自分自身を成長させるチャンスになると思います。ぜひ、たくさんの方に参加していただきたいです。